

江戸川区立清新第一中学校応援団実践報告書

1 校長及びコーディネーター氏名

清新第一中学校長 薦田 敏
 コーディネーター 松尾 泰典

2 ボランティア登録数（令和5年1月末現在）

学校応援団ボランティア数	一般ボランティア	9人
	学生ボランティア	0人

3 今年度の活動状況

応援団の種類・名称	活動状況(週、月、不定期)	ボランティア数 (実人数)
検定支援	英語・漢字検定の試験監督 (各学期2回で計6回)	6
特別支援学級書写手本作成・補助	不定期	2
セーフティ教室講師 (ICT)	7月15日	1
子どもを笑顔にするプロジェクト支援(東京オリンピック聖火トーチの提供他)	9月15日	1
植栽	10月8日他	6
外壁壁画のタイル補修	不定期	9



検定支援



書写



子供を笑顔にするプロジェクト



セーフティ教室



植栽

4 今年度の成果と課題

<成 果>

今年度コーディネーターの交代があり、より学校のニーズに合わせた、様々な活動を行いました。

- ・英語検定、漢字検定の各学期3回の運営・試験監督等をしていただきました。
- ・毎月1回書写の講師をしていただいています。
- ・情報セキュリティに詳しい学校応援団の方に、セーフティ教室で、情報モラル・SNSのマナーについて講演していただきました。これにより、本校ではSNSでの向き合い方を知る、いいきっかけとなりました。
- ・子供を笑顔にするプロジェクトとし、東京オリンピックのメイン会場であった、国立競技場の見学学習を実施する際、学校応援団で聖火ランナーだった前PTA会長に実際に使用された「トーチ」を持もって来ていただきました。
- ・2学期に植栽をして頂きました。また、学校の外壁壁画のタイルが取れてしまっているところの補修を計画していますが、タイルの製造が終わっていて、在庫を探していただいています。見つければ、三学期から補修を実施します。

<課 題>

- ・検定のメンバーなどが入れ替わる際には、仕事の手順等の引き継ぎを確実に行う。
- ・昨年度よりは、多く活動ができたが、引き続き、新型コロナ感染拡大を鑑みながら活動の実施並びに精査、検討していく必要がある。
- ・植栽や外壁壁画のお手伝いスタッフの継続ができそうなので、引き続き発展させたい。

5 コーディネーターより

学校応援団の皆様には、清新第一中学校のニーズに答えながらの活動をして頂き本当にありがとうございました。今年度も新型コロナ感染拡大防止に努めながらの活動は大変だったかと想像します。社会が求めるニーズは時代とともに変化していきます。私自身は学校評議員としても清新第一中学校を見守ってまいりました。コーディネーターとして、学校のニーズに応えられるようできることから活動できればと考えておりますので、今後とも、清新第一中学校を応援するため、皆様のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

6 学校長より

学校の教育環境整備や、教員の働き方改革を進めるうえでのお力添えなど、学校のニーズに合った活動を底辺精力的に行っていただきました。生徒の様子や保護者・教職員との連携を図りながら学校を応援してほしいと考えております。一年間ありがとうございました。